

## ? 現場でのお困りごと

コンセント配線後、RCDがトリップする原因を見つけるのに時間がかかる。

ある現場でRCDがトリップしたが、原因がニュートラルとアース(N-E)の逆接続であることを突き止めるのに二人体制で7時間を要した。コンセントテストKEW 4505でも判定不可が表示され、原因が見つけれない。

## ! 解決のヒント

いつもの確認方法で逆接続が見つからないのは、現場の接地方式が関係している可能性があります。

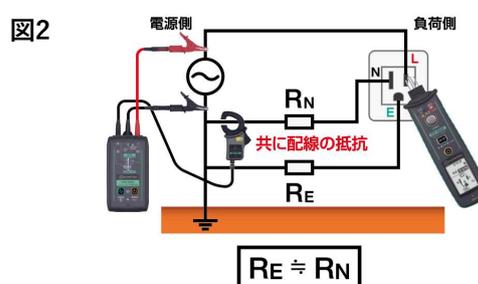
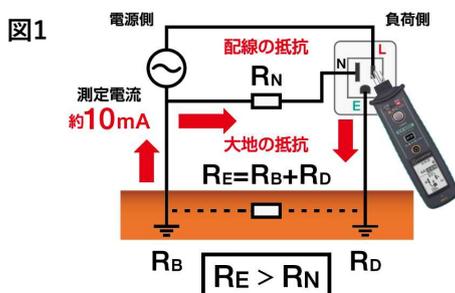
統合接地抵抗の低い接地方式(TN接地(構造体接地・共用接地などともよぶ))でも、コンセントの配線に誤りがないか、正しい判定を助けるコンセントテスト注入器 KEW 8341(Φ24mm)、KEW 8342(Φ40mm)をコンセントテスト KEW 4505 と組み合わせて使う方法をご紹介します。

### TT接地とTN接地

TT接地とは系統接地と機器接地が分離している接地方式です。  
 一方、TN接地とは機器接地が保護導体で系統接地に直接接続されている接地方式です。

### それぞれの極性判定

コンセントテスト KEW 4505を用いて、TT接地のコンセントの極性を判定をする場合、RNとREの抵抗値を測定し、それぞれの抵抗値の差を見ることで判定します(図1)。TN設置の場合、注入器からニュートラルに試験電圧を印加し、コンセントの極性を判定します(図2)。



## 効果

ライン・ニュートラル・アースそれぞれの配線確認はもちろん、発見が難しいN-Eの逆接続を1秒で簡単に発見できるようになり、時間のロスが大幅に削減できた。

## お問い合わせ先

共立電気計器株式会社 (9:00~12:00, 13:00~17:00 土・日・祝日を除く)

販売及び販売店紹介に関するお問い合わせ  
 東京オフィス TEL: 03-3723-7021  
 大阪オフィス TEL: 06-6337-8648  
 名古屋オフィス TEL: 052-939-2861  
 四国オフィス TEL: 089-998-4190  
 九州オフィス TEL: 092-419-7162

WEBからの  
お問い合わせ



KEW 8341  
製品情報



KEW 8342  
製品情報

